



河辺林通信

建部北町の森から
2015年2月号 No.202

冬ならではの魅力

冬の森の楽しみ方は色々ありますが、めずらしいものを見ることができました。霧氷です。

霧氷は空気中の水分がゆっくり冷やされて、その状態で樹木などの物体にぶつくと、その瞬間に凍るため、樹木が白い氷の膜に縁取られたようになる現象のことだそうです。

また、雪が積もった時は静かになりますよね。これは雪の小さな結晶が吸音材の役目をしているので静かになるそうです。

こうやって科学で考えるのも楽しいものですが、霜柱を踏んで歩いたり、ふとしたものに感動したりするのも、冬の森の楽しみの一つですよ。



モリイコ！の子どもたち

残すところあと2回の活動、午前中は「冬の運動会」です。しっぽとり、探し物、ドングリ運びリレー、どの競技も、班で相談、協力する姿が見られました。子どもたちの喜ぶ顔、悔しがる顔、いろんな表情が見られました。午後からは、足湯づくり。6回目から毎回たき火をしています、今回は石を焼き、水に入れてお湯にします。苦労しましたが、足をお湯につけた瞬間、笑顔がはじけます。頑張った甲斐があったね！



モリイコ！Sのミッションは「お正月遊び！」まずは凧をビニール袋と竹ひごで作りました。揚げる場所は歩いて5分、森の横の愛知川の河原、そう、旧の大凧会場です！凧揚げにはバッチリ！風に乗って揚がっていく凧を見上げながら、子ども達はとってもいい顔をしていました。風が強いと良く揚がるのですが、だんだん天気が悪くなり、冷たい雨風も吹き始めたので森へ帰ってきたのですが、堤防から森の中に入った瞬間、「あったか〜い！」森が風を遮っていること、冬は森は暖かいことを肌で実感です。そのあとは、コマに竹のけん玉、葉っぱカードに竹ぽっくり…自分で遊び道具を作るということは、やはり楽しいようで、真剣な手つきでつくり、目を輝かせながら遊んでいました。

●1月の作業だより

第2土曜日（1月10日） 27人

今月の作業は雪のため予定していた作業を変更して、

① **薪割り** たき火などのイベントやキャンプで使うスギの薪を割ってもらいました。

② **ナラ枯れ被害木の処理** ナラ枯れで枯れた木をチェーンソーで玉切りにして炭焼きの材料にしました。

③ **お昼ご飯作り** 人気の炊きこみご飯や、体が温まる具だくさんの豚汁などに加え、おせちや漬け物、鏡餅などの差し入れもいただきました。たくさんの差し入れ、ありがとうございました。差し入れ、歓迎です！

第4水曜日（1月28日） 21人

急に冷えた日で雪のちらつく中で活動日となりました。森の入り口近くのアラカシの伐採です。枝葉がたくさんついており、枝の処理作業が大変でした。それでも、午前中に2本、午後に1本の合計3本伐ることが出来ました。

木ままクラブ（1月15日） 12人 （1月22日） 11人

1/15 薪を割ってもらいました。作業がとても速く、雪害で折れた枝の処理などしていただきました。

1/22 雪害で折れた竹の伐採を行いました。

2月の活動日

2/5 （木）	木ままクラブ アラカシの伐採
2/14 （土）	落ち葉かき、ドングリ 広場の草刈りなどです
2/19 （木）	木ままクラブ シェルターの改修
2/25 （水）	竹林整備 お昼にミーティングも します。

朝 9:00～（遅刻可）

第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

1月・観察会

移動できない植物は、風やいきものを利用して種を遠くに運び、そこで子孫を増やします。今回はその風で運ばれる種に注目した観察会です。

まずは、森の中へ種探しに行きました。この日は朝から雪が降ったので、森の雪景色も楽しみながらみんなで歩き、種を集めました。その後は、作業小屋で、20倍に拡大して見ることができる実体顕微鏡を使って種を見てみました。

ひらひらとレースのような翼がついているキリの種は、硬い実の中に大量に入っていて、殻の隙間から風で飛ばされます。塵のように細かいタニウツギの種も、拡大して見ると種の外側に翼がついているのが見えたり、普段なかなか見ることのない視点から見られたのも面白かったです

ちいさい！
タニウツギの種

キリの種は
ひらひら
レースみたい

ヒマワリの種の
大きさと比較すると？

種はそれぞれ2倍の大きさです

スタッフルーム情報

普段は森の保全と、子どもたちへの対応に追われるスタッフ達ですが、この1月は小学校等の利用も比較的少ないので、スタッフ同士のミーティングや、スキルアップの研修に出かけることができます。

先日は「自分たちはどう見られたいのか」をテーマにスタッフでワークをしました。まずは「自分たちはどう思われているのか？」という所からです。

ボランティア、学生、子どもに自然のことを教えてくれる、公園の管理をしている、そもそも知られていない、何か勝手なことをしている、という意見が出ました。

改めて、遊林会が実際にしていること、外から見られている姿に大きなずれがあることをみんなで再認識しました。

良いことをしているのだから、良いように思われて当たり前～、という甘えもあったように思います。少なくとも、良いことをしている団体だとは思われたいので、これからは広報にもっと力をいれて、伝え方も工夫していこうと思います。

編集後記

今回はお試して、通信を印刷会社に発注してみました。いかがでしたでしょうか？
また、通信のリニューアルにともない、ハガキでの返事をお願いしましたが、多くの人から暖かい返信メッセージをいただきました。森に行けないけれど、気にはしているよ、というコメントも本当に嬉しいものです。法人化を機に、改めて遊林会のミッションを見直し、気持ちよく支援してもらえるような団体を目指しますので、どうぞよろしくをお願いします。

また、若吉さんから寄附をいただきました。ありがとうございました。 担当 泉

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良
〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp